

まつぼっくり

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」



宇城市立三角小学校
学校だより 第10号
文責 校長 西村羊治
令和7年5月13日

運動会に向けて

5月9日(金)、ある6年生が「校長先生、昼休みに体育館でダンスの練習をしているので見に来てください。」と声をかけてくれました。給食後すぐ体育館に向かうと、すでにステージ上でダンスを練習している6年生が数名いました。もちろん声をかけてくれた子もです。5

月24日(土)の本番に向けて時間を見つけ、精一杯頑張っているのです。しかも男女一緒に仲良く。当たり前のことと言えそうですが、その当たり前のことをやっていくことが難しいのです。運動会本番まで登校日は7日しかありません。7日もあります。どちらにしても良い方に考え、全力を出し切って欲しいと思います。私にとって、三角小学校の運動会は1年生と一緒に初めてになります。どんな運動会になるのか今からワクワクしています。今まで子どもたちや職員の動きを見ている限りでは期待が

持てそうです。半日開催で昔とは違いますが、子どもたちは、保護者の方々、地域の方々、来賓の方々等の応援を受けてさらに力を発揮します。お忙しい中だとは思いますが、どうぞ時間をつくっていただき、ご来校いただくようお願いいたします。きっとすべての子どもたちが全力で頑張ってくれることと思います。



6年生 創作ダンスの練習



1年生から6年生と一緒にエンジン

日常

運動会の練習真っ最中ですが、切り替えは大事です。運動会の練習・普段の授業・休み時間・そうじ時間・給食時間、学校の中では時間を刻んで、それぞれの活動があります。小学校での運動会、中学校での体育大会、そのことだけに集中しがちな児童生徒がいます。それが終わって

しまうと、魂が抜けたようになり日頃の学習に集中できなくなってしまうのです。そのことが自分にとってどういうことなのか深く考えていません。運動会は、いわゆる体育的行事であり「心身の健全な発達や健康の保持増進などについての理解を深め、安全な行事や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、

体力の向上などに資するような活動を行うこと。」です。小学1年生から6年生までの全員に各教師がこの目的を分かりやすく伝え、運動会の本当の意義を理解してもらったうえで行うことは大切だと考えます。勝ち負けにこだわらず、この体育的行事の意義を認識し、優勝の喜び、準優勝の悔しさや達成感、全力を出し切った成就感などたくさんの経験ができると思います。その中で日頃から心の切り替えをきちんとして、日常の当たり前を、継続して行って欲しいと思います。三角小のみんなならできます。

日々の授業 4年生



かかとがそろった靴箱